

## 2022年度第3回6月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2022年6月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、  
意見・感想を返信してもらう形式で開催

3. 委員の出席 委員総数8名  
返信総数8名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	白幡冬彦
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	和久井要子

#### 4. 議 題

- (1) 「花鳥風月～とちぎの音を聴く～」  
5月29日(日) 10:30～11:00

- (2) その他

## 5. 議事内容

### (1) 「花鳥風月～とちぎの音を聴く～」

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：A SMRを利用した、環境音・自然音を聴くリラクゼーション番組。

川や湖・滝・田んぼなどバイノーラルマイクを使って収録した栃木県内各地の水の流れる音をナビゲーションする。

各委員からは、

- 無意識に引き込まれて聴き入ってしまった。水の流れる音は単なるノイズでなく、とても心地良く、癒しとなる快感を得られた。このような番組は、毎日一定期間放送できれば、心のビタミンとなる。
- 自然の中の流水の音、それを邪魔しない静かなナレーション。心地良く、その情景を想像できるもので、とても心休まる番組。せわしなく不安の多い社会において、清涼な空気を感じる、息をつける時間の提供になると感じた。放送時間帯を通勤時間帯に合わせるのも良いのではないかな。
- 心が癒されて、とても良いと感じた。ただし放送時間は、夜の時間帯のほうが良いのではないかな。
- 音による癒しを狙うとするなら、夜遅い時間帯の方がよかったのではないかな。また癒し効果を紹介する番組なのか、癒しを感じられる場所を紹介する番組なのか疑問がある。ナレーションが子供っぽい話し方で番組にそぐわないと感じた。紹介する順番が実際に移動して旅をしているようになっていないかな。
- 実験的なラジオ番組で挑戦は評価したい。ただ音だけでは難しく、映像がないと思考が広がらない。湯滝の音は単調で途中からノイズに聞こえてしまった。ナレーターの声は甘ったるく、ミスマッチだと思う。もっと落ち着いた低音の声の方がよかったのではないかな。放送時間も深夜や早朝、放送終了間際など目を閉じて聴くことができる時間帯が良い。一度に6パターン放送するより、週1回や月1回など定期的に1回分ずつ放送するのが良いと思う。
- A SMRは食べるときの咀嚼音ばかりだったが、自然に感じられる音は原風景を想像させることもありホッとする。「とちぎの音」というのが良い。とちぎの音として様々なシリーズを展開すると良いのではないかな。音楽でA SMRが聞こえづらい箇所があったので、音楽とのバランスが大切と感じた。

- 映像のないラジオで、自然の音だけを放送する思い切った番組。ナレーターの優しい声もあってとても癒されると感じた。休日の午前中の放送は慌ただしく動いている人も多いことから、夕方や夜に放送する方がじっくり静かに聴くことができ、番組の良さがより伝わると思う。
- 音から風景を想像するという時間は心身のリセットになると思う。音とナレーションの声のトーンが一致しなく、もう少し低音の方が良いと感じた。自分の感性に働きかけていく時間を提供していくことはラジオだからこそその役割と感じた。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

## (2) その他

### 6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

### 7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」  
(2022年7月10日(日) 午前8時5分放送)
- ② 当社のホームページに掲載(2022年7月7日～)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2022年7月7日～)

以上